

## S07a 若い電波銀河のシンクロトロン放射損失

永井 洋 (総合研究大学院大学)、井上 允 (国立天文台)、亀野 誠二 (国立天文台)、浅田 圭一 (国立天文台)

活動銀河核から生み出されるエネルギーの一部は相対論的電子の加速に費やされ、ジェット・電波ローブからなる電波銀河を形成する。Compact Symmetric Object(CSO)は、電波源の差し渡しが1kpc以下のコンパクトな電波銀河で、進化の初期段階にある電波銀河の候補である。

我々はCSO天体CTD93(J1609+264)についてVLBAを用いた多周波電波観測を行った。8.5年前の観測との比較によって、電波源の差し渡しが増大していることをつきとめ、その運動速度から見積もった年齢は約5000歳である。これはCSOが若い電波銀河であるという説を支持するものである。さらにそこから得られた電波ローブの連続波スペクトルから、シンクロトロン放射損失によると考えられるスペクトルの変化を発見し、2004年度秋季年会で報告している。今回はこの結果をより詳細に検討し、放射損失によって生じるスペクトルブレイクの電波ローブ内の空間分布から、電波ローブ内部の状態について報告する予定である。